

アートマネジメント講座

2018 6.22^金 / 7.20^金 / 9.13^木 / 10.6^土

主催：いずみホール [一般財団法人 住友生命福祉文化財団]

共催：一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会 協力：大阪アーツカウンシル

 *Izumi Hall*
いずみホール

ファン づくりの イロハ

どうすればもっと多くのお客様に来ていただけるでしょうか。

公演の広報やPRはもちろん大切ですが、それだけではありません。

繰り返し足を運んでくださるお客様=ファンを増やすことも重要です。

現場の第一線に立つ講師陣からお客様のニーズをくみとるノウハウや、

ファンを増やす工夫の数々を学び、ワークショップや鑑賞を通じて

実践に踏み出す4講座。ファンを増やす方法、一緒に考えてみませんか？

講師一覧

野間 晴久

宗次ホール 統括支配人

田口 幹也

城崎国際アートセンター 館長

大迫 力

『月刊島民』編集・発行人

森岡 めぐみ

いずみホール企画部

若林 朋子

プロジェクト・コーディネーター

狩野 哲也

編集者・フリーライター

北嶋 優

いずみホール企画部

大久保 充代

八尾市文化会館プリズムホール 館長

吉田 純子

朝日新聞記者

中脇 健児

ワークショップデザイナー

小味 洵彦

いずみホールステージマネージャー

講師／コーディネーター

佐藤 千晴

フリージャーナリスト

2018
6.22 | 金

11:00 ほぼ毎日コンサート 驚異のクラシックホールの発想
↓
年間400回ものコンサートを主催する名古屋の室内楽ホール・宗次ホール。
12:30 音楽プラスアルファの楽しみも演出するファンづくりの手法を語っていただきます。

講師：
野間 晴久 宗次ホール 統括支配人

講座1
発想のイロハ
住友クラブ

13:45 世界と交流 温泉町のアーティスト・イン・レジデンス
↓
城崎国際アートセンターは国内外のアーティストが滞在、主に舞台芸術作品を
15:15 制作する施設です。伝統的な温泉町と先端的な試みを結ぶポイントを学びましょう。

講師：
田口 幹也 城崎国際アートセンター 館長

15:30 情報誌選手権 (ワークショップ)
↓
ファンをつくる重要なツール・情報誌を魅力的にするノウハウを、
プロの編集者とホール情報誌の編集長を案内人に
「選手権」方式で検証します。
17:00

進行：
佐藤 千晴 フリージャーナリスト/前・大阪
アーツカウンシル統括責任者
パネリスト：
大迫 力 『月刊島民』編集・発行人
株式会社140B 編集者
森岡 めぐみ いずみホール企画部
広報誌「Jupiter」編集長

7.20 | 金

11:00 そのアンケート、本当に活用していますか？
↓
アンケートでどんなデータを集めて、どう活用すればいいのか分からない……
12:30 そんなあなたに、本当に役に立つアンケートの作り方、分析のポイントを伝授します。

講師：
若林 朋子 プロジェクト・コーディネーター/
立教大学大学院21世紀社会
デザイン研究科特任准教授

講座2
コミュニケーション
のイロハ
住友クラブ

13:45 実践！ アンケート作成 (ワークショップ)
↓
レクチャーを踏まえ、ワークショップ形式で
15:15 実際にアンケートを作ってみましょう。

進行：
佐藤 千晴 フリージャーナリスト/前・大阪
アーツカウンシル統括責任者
若林 朋子 プロジェクト・コーディネーター/
立教大学大学院21世紀社会
デザイン研究科特任准教授

15:30 ソーシャルメディアでファンづくり (ワークショップ)
↓
ソーシャルメディアを集客ツールで終わらせるなんてもったいない。
ファンづくりにこそ活用したい！
17:00 成功事例を分析し、楽しみながら運営するコツを探ります。

進行：
佐藤 千晴 フリージャーナリスト/前・大阪
アーツカウンシル統括責任者
パネリスト：
狩野 哲也 フリーライター
編集者
北嶋 優 いずみホール企画部
広報・制作担当

9.13 | 木

11:00 “地域密着型”ホールのノウハウ
↓
平成29年度地域創造大賞を受賞した大阪府八尾市のプリズムホール。
12:30 その活動から地域とのより良い関係づくりを学びます。

講師：
大久保 充代 八尾市文化会館
プリズムホール 館長

講座3
つながりのイロハ
住友クラブ

13:45 日本各地の実践を知ろう
↓
経験豊かな文化記者が、日本各地のホールやフェスティバルで見てきた
15:15 地域を巻き込み、ファンをつくる知恵を語ります。応用できるヒント満載。

講師：
吉田 純子 朝日新聞記者

15:30 まちの宝を再発見、発信しよう (ワークショップ)
↓
風土、歴史、人……どのまちにも特有の個性があります。
17:00 その価値を見だし、生かす企画づくりに挑戦してみましょう。

講師：
中脇 健児 ワークショップデザイナー/
場とコトLAB

10.6 | 土

13:00 パイプオルガンを知ろう
↓
オルガン公演を聞く前に、ちょっと役立つ楽器の話。
14:00 いずみホールのステージマネージャーが語る、オルガン公演の魅力。

講師：
小味 渕彦之 いずみホールステージ
マネージャー/
音楽評論家

特別講座
見学・
オルガンファン
づくりのイロハ
いずみホール

14:10 ファン獲得の試行錯誤
↓
かつては集客に苦しんだオルガンシリーズを人気公演に成長させた
15:10 試行錯誤の数々。いずみホールの事例を紹介します。

講師：
森岡 めぐみ いずみホール企画部
事業制作・広報/
広報誌「Jupiter」編集長

16:00 鑑賞/いずみホールのオルガン公演

いずみホール・ロングラン企画、実際に公演を観てみましょう。受講者特典として、
バッハ・オルガン作品全曲演奏会 Vol.13を特別価格でご鑑賞いただけます。

いずみホール/バッハ・アルヒーフ・ライブツィヒ共同企画

バッハ・オルガン作品全曲演奏会 vol.13「イエスを迎える喜び」 ◀特別価格で鑑賞

【出演者】バrint・カロン(バイブオルガン)

【演奏曲目】J.S. バッハ：プレリュードとフーガ イ短調 BWV551、《高き天よりわれは来たり》BWV700、701、カノン風変奏曲《高き御堂よりわれは来たり》BWV769 他

野間 晴久

宗次ホール 統括支配人

取引金融機関の融資担当から、2008年に総括支配人に就任。採算を考えた集客戦略で年間400公演の開催と着任時の年間2万人の入場者数を9年間で4倍の8万人迄増加させる。現在南山大学、愛知県立芸術大学非常勤講師。

田口 幹也

城崎国際アートセンター 館長

(株) QUICK、日本IBM (株) を経て、複数の会社の立ち上げに参画。2011年の東北大地震を機に豊岡市に帰郷。2013年から『豊岡エキシビジョン』の企画・運営に携わるほか、豊岡市の魅力を発信するための活動「おせっかい。」を行う。2015年4月より現職。

大迫 力

『月刊島民』編集・発行人／株式会社140B 編集者

2003年、京阪神エルマガジン社の『Meets Regional』編集部に入る。2006年より、株式会社140Bへ。中之島のフリーマガジン『月刊島民』の編集、「ナカノシマ大学」の企画・運営のほか、各種制作物や書籍の編集も手がける。

若林 朋子

プロジェクト・コーディネーター／立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任准教授

英国で文化政策とアートマネジメントを学ぶ。1999年～2013年(公社)企業メセナ協議会で企業が行う文化活動の推進と芸術創造環境の整備に従事。在職中アートマネジメント総合情報サイト「ネットTAM」の立ち上げ、運営。現在はフリーのコーディネーターとして自治体文化政策やNPO支援、執筆、事業評価等を行う。

佐藤 千晴

フリージャーナリスト／前・大阪アーツカウンシル統括責任者

1985年～2013年、朝日新聞記者。主に大阪・東京両本社の学芸部(現・生活文化部)で暮らしや文化の取材を手がける。2013年6月～18年3月、大阪アーツカウンシル統括責任者。大阪の文化やアーティストの状況を調査、助成金審査や政策提言を重ねる。

狩野 哲也

フリーライター／編集者

フリーランスの編集者、ライター、プランナー。大阪市立芸術創造館主催の『ソーシャルメディアを活用した広報の勉強会』などで、パブリックリレーションを意識したSNSの使い方などをレクチャーしている。
詳細 <http://kanotetsuya.com/public-relations20180114/>

北嶋 優

いずみホール企画部／広報・制作担当

大阪教育大学、同大学院で音楽を学ぶ。いずみホールには大学在学中より、レセプションリストとして勤務。レセプション・マネージャーを経て、現在企画部にて広報、制作を担当する。

大久保 充代

八尾市文化会館プリズムホール 館長

1989年八尾市文化振興事業団入団。市民や芸術家とのプロデュース事業などを担当。2009年に館長。これまで米国および英国の公立劇場を多数調査。全国公立文化施設協会コーディネーター。2017年に関西学院大学経営戦略研究科にてMBAを取得。

吉田 純子

朝日新聞記者

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、1996年同大学院音楽研究科(西洋音楽史)修了。在学中はピアニスト、音楽ライターとして活動。1997年朝日新聞社入社。仙台支局、東京本社学芸部、整理部、広告局、文化部を経て2014年4月から編集委員。現在、文化くらし報道部次長。

中脇 健児

ワークショップデザイナー／場とコトLAB

「鳴く虫と郷町」「伊丹オトラク」など地域連携事業を数々立ち上げ、「その場にいる人とその場だからできるコトを考える」をモットーに、アート、コミュニティプログラム、地場産業支援など活動は多岐に渡る。NPO法人ワークショップデザイナー推進機構西日本理事。NPO法人こととふラボ理事。京都造形芸術大学、大阪芸術大学、天理医療大学 非常勤講師。

小味 淵彦之

いずみホールステージマネージャー／音楽評論家

1999年から、いずみホールステージマネージャー(株式会社NHKメディアテクノロジー所属)として、年間200回を超える演奏会を担当している。また、プログラムに掲載の曲目解説、演奏会の音楽評など手がけるほか、コンサートの企画監修にも携わっている。

森岡 めぐみ

いずみホール企画部 事業制作・広報／統括／広報誌『Jupiter』編集長

1989年開館準備室に入りレセプション・マネージャー、営業、宣伝・広報を経て事業制作・広報統括。ホール情報誌『Jupiter』編集長。日本クラシック音楽事業協会編『クラシック・コンサート制作の基礎知識』の「広報・宣伝」を執筆。

募集要項

対象者	文化施設に勤務されている方、文化団体スタッフの方、アートマネジメントを専攻の方
定員	各講座 定員30名
受講料	各日1,000円(1日3講座)
申込	事前申込制(応募者多数の場合は主催側で選考いたします。)
申込受付	5/7～5/15 ※1日のみのお申込みも可能ですが、全講座受講希望者を優先いたします。 ※応募総数によっては、1団体につき1名様でお願いする場合がございます。

お申込み方法

件名を「ファンづくりのイロハ」とし、
以下■の情報を明記の上、メールでお申込みください。

応募先アドレス pr_concert@izumihall.jp

■参加ご希望講座

- 6/22(金) 講座1
- 7/20(金) 講座2
- 9/13(木) 講座3
- 10/6(土) 特別講座

■勤務先・部署 もしくは 団体名

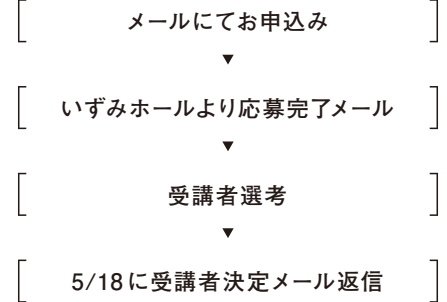
■受講予定者 氏名

■受講票送付先ご住所(郵便番号もご記入ください)

■電話番号

■職務内容など

応募手順



受講決定者には受講ハガキの送付いたします。
講座当日は受講ハガキを必ずご持参ください。

※土日祝を除き、2日を過ぎても応募完了メールの返信がない場合、お電話にてお問い合わせください。

いずみホール企画部06-6944-1130(担当:中村・森岡)

※応募時にいただいた個人情報は当ホールからの案内にのみ使用いたします。

会場アクセス

📍 住友クラブ 講座1 講座2 講座3



〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目13番10号(成泉ビルディング)
地下鉄四ツ橋線肥後橋駅下車10号出口よりすぐ
※駐車場はございませんので、近隣のコインパーキング等をご利用ください。

📍 いずみホール 特別講座



〒540-0001 大阪市中央区城見1丁目4-70 住友生命OBPプラザビル
JR環状線「大阪城公園」駅 徒歩5分
※いずみホール駐車場をご利用いただけます(有料)。事前にご連絡下さい。